CONTENTS

はじめに 3

本書の読み方 5

第1章 ロシア社会主義の胎動

第1幕 **空想から科学へ！**
ロシア三大政党の成立 11

第2幕 **革命はいかにして起こるのか**
マルキシズム理論 31

第3幕 **労資同盟 !?**
メンシェヴィズム理論 51

第4幕 **労農同盟 !?**
レーニニズム理論 63

第5幕 **プロレタリア単独革命**
トロツキズム理論 73

第6幕 **ただ立ち上がりさえすれば**
世界革命論 79

第7幕 **エリートが導くべし**
ロシア社会民主労働党の分裂 85

第2章 ロシア第一革命

第1幕 **革命時代の幕開け**
血の日曜日事件 95

第2幕 **国会開設の約束**
十月勅令 109

第3幕 雨後のタケノコの主張とは
ロシアの政党とその支持基盤 119

第4幕 皇帝の逆鱗
ヴィッテ首相時代 125

第5幕 「まずは平静を」
ストルイピン首相時代① 133

第6幕 「しかるのち改革を」
ストルイピン首相時代② 141

第7幕 不吉な予言
怪僧ラスプーチン 149

第3章 ロシア三月革命

第1幕 血の日曜日ふたたび
ペトログラード暴動 165

第2幕 帝国は無政府状態なり！
暴動から革命へ 173

第3幕 信念に徹するがゆえに
ソヴィエトの成立 181

第4幕 「命令第一号」宣言す
二重権力時代の到来 193

第5幕 ミハイル大公の決断
ロマノフ朝ロシア帝国の滅亡 205

第4章 臨時政府時代

第1幕 **封印列車、出発！**
レーニン帰国への努力 215

第2幕 **論敵から盟友へ**
レーニン帰国 223

第3幕 **指導者なき暴動**
リヴォフ公内閣の動揺 235

第4幕 **不安定な三頭政治**
ケレンスキー内閣の成立 251

第5幕 **“ハイキング”の結末**
コルニーロフ将軍の軍事クーデタ 261

第6幕 **バラされた「決意」**
ボルシェヴィキの勢力拡大 267

第5章 十一月革命

第1幕 **エルミタージュ、陥落！**
十一月革命の勃発 275

第2幕 **新政府誕生の実態**
革命成功当日 287

第3幕 **大盤振舞いの公約**
憲法制定会議選挙 295

第4幕 **タヴリーダ宮は誰の手に**
憲法制定会議の軍事制圧 303

Column コラム

個人主義と全体主義	19
ロシアの求海政策	27
諸君！ 団結せよ！	35
ヘーゲルの弁証法	40
マルクスの過ち	50
戦艦ポチョムキン号事件	108
右派と左派	118
1905〜11年のアジア	140
村落共同体ミール	147
カリスマ的支配	159
アナスタシア伝説	164
帝都の名称の変遷	180
三月革命時の多数派	234
血の流れていない思想	250
三ッ巴策	257
ロシア人の名前	286
ロシア皇帝の正式帝号	322